

2020

先週の殺人事件の犯人が捕まって本当によかったです。これからも登下校の安全指導を子どもたちには、繰り返し行っていきたくと思います。お家に帰ってから遊びに行くときの注意喚起、よろしくお願ひします。



大江の風

9月14日
No.93

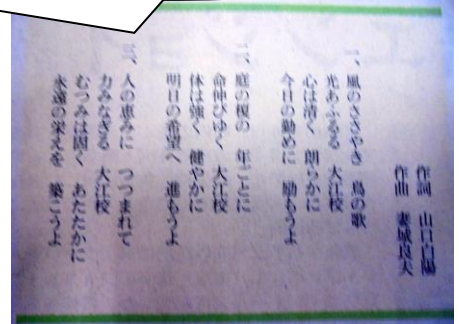


お父さんお母さんが卒業生という家庭もありますよね。どうぞ一緒に大きな声で歌ってあげてください。きっと子どもさんも喜ぶと思います。

校歌を大切にしたい

放送委員会にお願いして1日1回、校歌を流してもらおうようにしました。3月から、もう半年間みんなと一緒に大声で校歌を歌っていません。「みんなちゃんと歌詞を覚えているかしら。歌えるかしら」と思ってしまいます。歌唱指導は今、耳で曲を聴いてマスクをして心の中で歌う、口ずさむくらいです。歌詞があやふやになってはいないでしょうか。

毎月必ず1回は、学校朝会でみんなで歌っていた校歌。この校歌の歌詞には、大江らしさが込められています。「大江の魂」といっても過言ではありません。この校歌は、創立の時にできたわけではありません。1954年に創立80周年を記念して制定されています。2番にはシンボルツリーの「えのき」がでてきます。そして「明日への希望へ 進もうよ」とあります。現代の私たちに対する応援歌のようですね。私は3番の「人の恵みに つつまれて」「むつみは固く あたたかに」と、人と人とのつながり、絆を大江小は大事にしていこうという想いのこもった歌詞が大好きです。そういえば、熊本地震の時に、FMラジオで校歌を流していました。避難所の皆さんが、母校の校歌をリクエストされていたそうです。大江小の校歌は、とてもリクエストが多かったと聞きます。避難所の皆さんを励まし、まさに明日への希望に進む応援歌であったと思います。私も自分の卒業した小学校の校歌を今でも歌うことができます。小学校だけでなく、中学校、高校も皆さんもそうではないですか？(同窓会では必ず歌いますよね)母校は、やはり「心のふるさと」だと思ひます。大江の子どもたちも、何歳になっても「母校」「校歌」を大事にしてほしいなあと思ひます。今日はお風呂で、学校では思ひっきり歌えない分、校歌をのびのびと歌ってくれないかな～。お兄ちゃん、お姉ちゃんは、お家で弟妹に校歌の歌ひ方を教えてくれないかな～。弟妹に校歌のよさを教えてくださいよ。よろしくね。



とても気持ちの良い気候になってきました

昔は、9月15日が藤崎八幡宮の秋季例大祭でした。熊本ではこの日を境にだんだんと暑さが和らぎ、朝晩が冷え込んできます。このことを「随兵寒合(ずいびょうがんや)」といいます。随兵とは、お祭りの神幸行列に付き従う武者のことを指します。さて、今朝もだいぶ過ごしやすくなりましたね。運動場では子どもたちが楽しそうに遊んだり体育をしったり虫取りをしったりしていました。



朝からやる気満々だ～。
わ～～い!



捕まえた!でも「虫と仲良し」の学習だから、逃がしてあげるの。



5年生はミニバレー。さまになってきました。



6年生はハンドバースポール。ヒット量産。



ひまわり組さん。いよいよハートフルコンサートの練習が始まりました。今年でハンドベル演奏は最後だそうです。がんばってほしいな。



さすが3年生以上。1回目の練習にしては上出来でした。♪のところを担当の子のお顔になっていてとても分かりやすい楽譜が作ってありました。



さわやかあいさつ運動が始まりました。今朝は2年生担当。ありがとうね。